

JMOOC 講座

1. 概要

インターネットを利用したオープン教育は、学生に対する学修補助効果、教育の質の向上が期待されるだけでなく、「大学の知」を社会に還元する社会貢献にもつながるものであり、本学の新たな「価値」「意味」を創出する役割を担うと考えられる。また、広報効果として、その性質から国内のみならずグローバルに本学の知名度を高めることが期待できる。

本学は 2014 年度より日本オープンオンライン教育推進協議会（JMOOC）に加盟し、JMOOC 公認配信プラットフォーム「gacco」にて毎年 1～2 講座を開講してきた。2021 年度は前年度に引き続き新型コロナの情勢下で新規のコンテンツ制作が困難な状況であったため、2018 年度に開講した講座を一部修正し、再開講した。

2. 利用状況

(1). 開講講座情報

講座名：勝利の方程式～スポーツと栄養～

講師：コミュニティ福祉学部スポーツウエルネス学科 教授 杉浦克己

開講予定期間：2021 年 7 月 15 日（木）から 9 月 30 日（木）

受講登録者数：1,217 名

受講修了者数：219 名

修了率：18%



図 1：JMOOC 講座コースカード

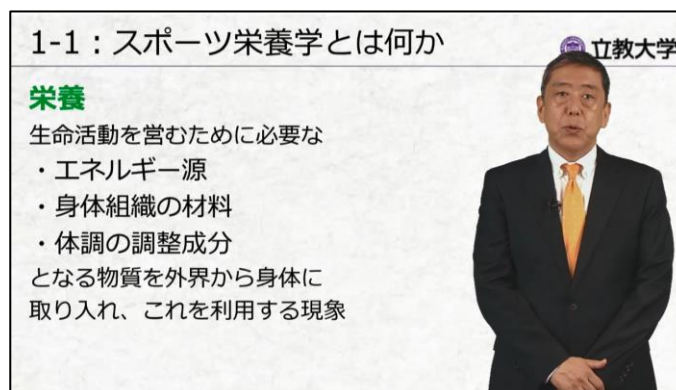


図 2：JMOOC スライドイメージ

(2). アンケート集計

JMOOC 配信プラットフォームを運営している株式会社ドコモ gacco から提出された「受講状況等各種集計結果と受講者からのアンケート結果についての分析報告書」より一部抜粋する。

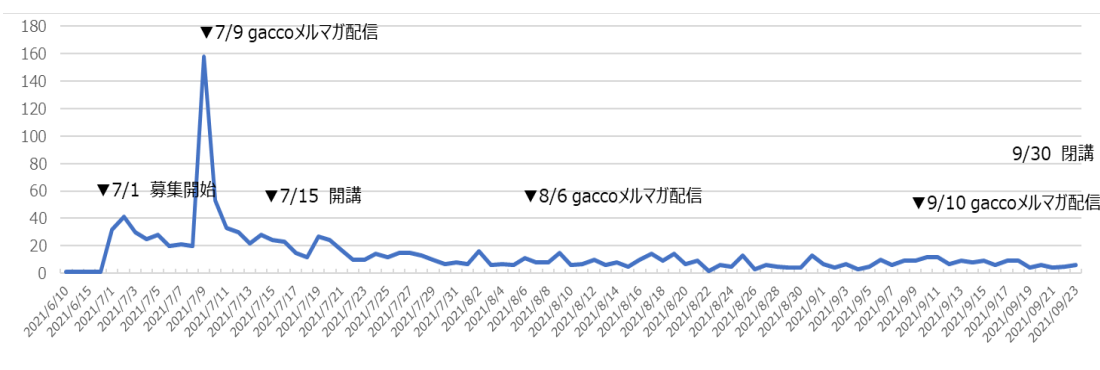
① 受講状況

	受講者数	ディスカッションスレッド数	修了率
勝利の方程式 スポーツと栄養	1,217	0	18%
gacco講座平均 (2020年度平均)	3,864	57	17%

② 性年代別受講状況

	男性							女性							その他
	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	10代以下	20代	30代	40代	50代	60代	70代以上	
受講登録数	12	77	84	112	116	112	66	31	79	125	115	98	35	10	145
受講登録構成比	1.0%	6.3%	6.9%	9.2%	9.5%	9.2%	5.4%	2.5%	6.5%	10.3%	9.4%	8.1%	2.9%	0.8%	11.9%
他講座平均	1.6%	9.6%	12.1%	13.5%	11.0%	6.3%	2.8%	3.2%	5.2%	5.6%	5.7%	4.1%	1.3%	0.3%	17.6%

③ 受講登録推移



④ アンケート結果

職種（受講前）

No.	カテゴリ	実数	%
1	01. フルタイム	322	55.1%
2	02. パートタイム、アルバイト	83	14.2%
3	03. 専業主婦（夫）	49	8.4%
4	04. 無職	85	14.6%
5	05. 小学生	2	0.3%
6	06. 中学生	0	0.0%
7	07. 高校生	10	1.7%
8	08. 短大生・高専生・専門学校生	2	0.3%
9	09. 大学生	24	4.1%
10	10. 大学院生（修士課程）	2	0.3%
11	11. 大学院生（博士課程）	2	0.3%
12	12. 上記以外の学生	3	0.5%
	回答数合計	584	100.0%

本学との関係（受講前）

No.	カテゴリ	実数	%
1	01. 立教大学の在学生である	3	0.5%
2	02. 立教大学の附属・系属校の生徒である	2	0.3%
3	03. 立教大学の卒業生である	15	2.6%
4	04. 立教大学に勤務している	1	0.2%
5	05. 立教大学を受験したい（または子供に受験させたい）と考えている	14	2.4%
6	06. 立教大学とはまったく関係がない	549	94.0%
	回答数合計	584	100.0%

講座満足度（受講後）

No.	カテゴリ	実数	%
1	01. 大変満足	94	63.9%
2	02. まあ満足	49	33.3%
3	03. やや不満	2	1.4%
4	04. 不満	2	1.4%
	回答数合計	147	100.0%

オンライン学習で継続して学びたい分野（受講後）

No.	カテゴリ	実数	%
1	01. 一般教養	124	36.5%
2	02. 直接仕事と関係のない分野の知識	76	22.4%
3	03. 最新のトレンドや動向	83	24.4%
4	04. 普遍的な哲学	46	13.5%
5	05. その他	11	3.2%
	回答数合計	340	100.0%
	回答人数合計	147	

3. 2021 年度のまとめ

2021 年度は配信プラットフォームを運営する株式会社ドコモ gacco にて、東京オリンピック・パラリンピックの開催に際し、スポーツに関連した講座を集めた特集が組まれた。4月に gacco より、この特集内で 2018 年に本学が提供した杉浦教授のスポーツ栄養学講座を再開講できないかと打診があり、コロナ禍で新規講座の制作が困難な状況であったことから、本講座を再開講し 2021 年度の本学からの JMOOC 提供講座とすることとした。5月より著作権処理、資料改訂、動画修正等、再開講に向けた準備を行い、東京オリンピック・パラリンピックの開催期間に合わせて 7 月に開講を迎えた。

今回は大会開催期間に合わせた開講という制約があり、告知期間が十分に確保できなかったことから受講者数はそれほど多くなかったが、約 2 割の受講者が修了した。受講者の性別・年代別集計では、他の gacco 講座の平均と比較して 20 代～50 代女性、60 代～70 代以上の男性の受講者割合が高いことが特徴的であった。これは、「スポーツ」「栄養学」「健康」といった横断的なテーマ設定が、各受講者のニーズに結び付いたと考えられる。受講後アンケートの自由記述では、自身のトレーニングや健康管理の参考となったというコメントが多く寄せられ、育児中とみられる受講者から食育やスポーツをしている子供の食生活の参考になったという声も複数あり、続編を望む声も寄せられた。

本講座では最終課題においてレポートの相互採点（ピアビュー）を課しているが、相互採点については「参考になった」「良い勉強・体験になった」という声が非常に多く好評で、「オンライン受講でも、他の受講者の感じたことを知ることができるので、必須の機能だと思う」という声もあった。ピアビューは、自身のレポート作成だけでなく、他の受講者レポートの採点も行うため、通常の課題と比べ受講者の負担があるが、受講者の満足度は高くなるということが分かった。

受講後アンケートのその他の自由記述では、「玉石混合あふれる健康情報に惑わされないレベルの基礎知識を得ることができた」「講師が完全にプロであり、レベルの高い講義であった」というコメントもあり、講義内容やレベルに対する満足度の高さがうかがえた。近年は YouTube 等で個人による動画配信が盛んに行われるようになり、専門的なテーマを扱う動画も増えていることから、JMOOC の受講者数が年々減少傾向にある。JMOOC は大学が講座提供を行っていることや、受講者に修了証が発行されること、ディスカッションやピアビューなど受講者同士の交流ができることなどが YouTube 等の動画コンテンツと異なる魅力である。今後の開講にあたっては、本学らしいテーマの講座を提供することに加え、講座の告知の際には JMOOC 講座の魅力や受講のメリットを分かりやすく積極的に周知するようにしたい。